



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社 サニックス

上場取引所 東 福

コード番号 4651 URL <https://sanix.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宗政 寛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部経営企画部長 (氏名) 曾我 拓

TEL 092-284-5072

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	34,275	0.2	2,419	117.6	2,242	139.6	1,806	178.2
2023年3月期第3四半期	34,345	5.8	1,111	514.0	935		649	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,861百万円 (185.1%) 2023年3月期第3四半期 652百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	37.80	
2023年3月期第3四半期	13.58	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	35,167	7,929	22.5	165.46
2023年3月期	33,586	6,068	18.0	126.51

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 7,909百万円 2023年3月期 6,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2024年3月期	0.00	0.00	0.00		
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,965	3.6	3,231	81.0	3,014	94.2	2,495	87.3	52.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	48,919,396 株	2023年3月期	48,919,396 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,115,133 株	2023年3月期	1,114,983 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	47,804,383 株	2023年3月期3Q	47,804,447 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
部門別連結売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～12月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に位置付けられたことを受け、インバウンド需要の回復もあり緩やかに回復してまいりました。しかしながら、不安定な国際情勢の中、資源・エネルギー価格の高騰や円安進行に伴う原材料価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような社会情勢において、当社グループは、企業理念である「次世代へ快適な環境を」のもと、住環境領域、エネルギー領域、資源循環領域の各領域において、事業を通じた社会課題の解決を推進し、持続可能な社会づくりに取り組んでまいりました。

また、当社グループは、既存事業の着実な成長により「稼ぐ力」を強化し、安定的な財務基盤を確保するとともに、戦略投資枠を設定し、将来の成長に向けた積極的な成長投資を開始する期間として「中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期)」を策定しました。戦略投資の実行により将来の成長を加速し、更なる戦略投資枠の拡大を目指してまいります。

(詳細は当社ホームページをご参照ください。https://sanix.jp/report/671/report_671_784.pdf)

売上高につきましては、環境資源開発事業部門が発電売上で今年度の売電契約単価が上がったことにより増収(前年同期比10.8%増)となったものの、新電力事業部門において電力調達コストの上昇によるリスクを回避するため事業縮小を進めたことで減収(前年同期比54.6%減)となりました。この結果、グループ全体の売上高は34,275百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

利益につきましては、環境資源開発事業部門において、苫小牧発電所の売電契約単価が上昇したことにより利益が向上しました。この結果、グループ全体の損益は、2,419百万円の営業利益(前年同期比117.6%増)、2,242百万円の経常利益(前年同期比139.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,806百万円(前年同期比178.2%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

<住環境領域>

HS事業部門

HS事業部門では、前期より新規顧客の開拓を重視した営業方針を強化し、顧客基盤の拡充に向けた取り組みを推進してまいりました。この結果、「基礎補修・家屋補強工事」が前年同期比3.7%減となったものの、「白蟻防除施工」が前年同期比8.2%増、「床下・天井裏換気システム」が前年同期比5.1%増となり、売上高は8,859百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

営業損益は、前年同期比増収に加え、外注工事費の減少、ならびに販売費及び一般管理費等の固定費の削減効果により、1,277百万円の営業利益(前年同期比33.6%増)となりました。

ES事業部門

ES事業部門では、ビル・マンション等のオーナー及び管理会社等提携先との関係強化を進めてまいりました。主力商品である「防錆機器取付施工(商品名:ドールマンショック)」が前年同期比5.2%減、「建物防水塗装補修施工」が前年同期比3.2%減となったものの、「建物給排水補修施工」が前年同期比43.8%増となり、売上高は2,007百万円(前年同期比9.6%増)となりました。

営業損益は、前年同期比増収となったものの、原価率の高い商品構成となったことにより、34百万円の営業利益(前年同期比28.2%減)となりました。

SE事業部門

SE事業部門では、前期に事業部を立ち上げ、戸建てに特化した太陽光発電システム等の販売に注力してまいりました。前年同期比で蓄電池の販売、既設太陽光発電システムのパワーコンディショナー交換工事は増加したものの、業務提携先の開拓に人員を割いたことにより、一時的に売上水準が低下しました。この結果、売上高は948百万円(前年同期比26.1%減)となりました。

営業損益は、前年同期比減収となったものの、採算性の改善を進めたことにより、67百万円の営業損失(前年同期は90百万円の営業損失)となりました。

<エネルギー領域>

PV事業部門

PV事業部門では、企業・法人向けに自家消費型太陽光発電システム等の販売施工、自治体へのPPA事業の提案、土地付太陽光発電所の販売、既設太陽光発電システムの機器交換、メンテナンス等に注力してまいりました。この結果、売上高は6,516百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

営業損益は前年同期比増収となったものの、材料資材等の価格上昇の影響もあり、67百万円の営業損失（前年同期は121百万円の営業損失）となりました。

新電力事業部門

新電力事業部門では、電力調達コストの上昇により採算性の確保が困難であると判断し、昨年来、事業縮小を進めてまいりました。この結果、売上高は1,964百万円（前年同期比54.6%減）となりました。

営業損益は、前年同期は相対取引による電力調達の余剰分を、相対調達価格よりも高騰していた卸電力市場での売却により利ぎやを得ることができましたが、卸電力市場が落ち着いてきたことに加え、事業縮小による減収もあり、87百万円の営業利益（前年同期比63.1%減）となりました。

<資源循環領域>

環境資源開発事業部門

環境資源開発事業部門では、「プラスチック燃料」が前年同期比1.8%減、「廃液処理」が前年同期比1.7%増、「埋立処理」が搬入量の減少により前年同期比5.8%減となり、「発電所売上」が苫小牧発電所の売電契約単価が上昇したことにより前年同期比56.4%増となりました。この結果、売上高は13,978百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

営業損益は、苫小牧発電所の法定点検による修繕費を計上したものの、売電契約単価が上昇したことにより採算性が向上し、3,200百万円の営業利益（前年同期比36.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は35,167百万円となり、前連結会計年度末比で1,581百万円増加しました。負債合計は27,238百万円となり、前連結会計年度末比で279百万円減少しました。純資産合計は7,929百万円となり、前連結会計年度末比で1,861百万円増加しました。その結果、自己資本比率は22.5%（前連結会計年度末は18.0%）となりました。

(資産)

流動資産は14,612百万円となり、前連結会計年度末比で928百万円増加しました。主な要因は、未成工事支出金が480百万円、現金及び預金が348百万円増加したためであります。

固定資産は20,555百万円となり、前連結会計年度末比で652百万円増加しました。主な要因は、建物及び構築物（純額）が147百万円、繰延税金資産が減少したことで投資その他の資産が198百万円それぞれ減少したものの、建設仮勘定が増加したことで有形固定資産のその他（純額）が633百万円、機械装置及び運搬具（純額）が403百万円それぞれ増加したためであります。

(負債)

流動負債は16,767百万円となり、前連結会計年度末比で384百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が334百万円減少したものの、未払金が1,027百万円増加したためであります。

固定負債は10,471百万円となり、前連結会計年度末比で664百万円減少しました。主な要因は、社債が300百万円増加し、長期借入金1,023百万円減少したためであります。

(純資産)

純資産合計は7,929百万円となり、前連結会計年度末比で1,861百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,806百万円を計上したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,504	4,852
受取手形及び売掛金	4,827	4,633
商品及び製品	163	175
未成工事支出金	134	615
原材料及び貯蔵品	2,901	2,975
その他	1,382	1,467
貸倒引当金	△229	△107
流動資産合計	13,683	14,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,355	2,207
機械装置及び運搬具(純額)	4,286	4,689
土地	8,209	8,212
その他(純額)	1,250	1,883
有形固定資産合計	16,100	16,992
無形固定資産	595	553
投資その他の資産	3,206	3,008
固定資産合計	19,902	20,555
資産合計	33,586	35,167
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,463	2,128
電子記録債務	782	567
短期借入金	3,462	3,576
1年内返済予定の長期借入金	1,372	1,364
1年内償還予定の社債	200	300
未払金	3,296	4,324
未払法人税等	350	272
賞与引当金	263	139
再資源化費用等引当金	11	25
その他	4,178	4,067
流動負債合計	16,382	16,767
固定負債		
社債	500	800
長期借入金	5,472	4,448
役員退職慰労引当金	4	4
処分場閉鎖費用引当金	523	560
退職給付に係る負債	2,104	2,179
その他	2,531	2,478
固定負債合計	11,135	10,471
負債合計	27,518	27,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041	14,041
利益剰余金	△6,666	△4,859
自己株式	△1,481	△1,481
株主資本合計	5,893	7,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72	88
為替換算調整勘定	106	126
退職給付に係る調整累計額	△24	△6
その他の包括利益累計額合計	154	209
非支配株主持分	20	19
純資産合計	6,068	7,929
負債純資産合計	33,586	35,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	34,345	34,275
売上原価	22,408	21,275
売上総利益	11,937	12,999
販売費及び一般管理費	10,825	10,579
営業利益	1,111	2,419
営業外収益		
受取利息	10	7
受取配当金	3	4
受取地代家賃	47	47
その他	88	48
営業外収益合計	149	107
営業外費用		
支払利息	228	191
固定資産除却損	55	61
その他	40	31
営業外費用合計	325	284
経常利益	935	2,242
税金等調整前四半期純利益	935	2,242
法人税、住民税及び事業税	174	332
法人税等調整額	114	104
法人税等合計	288	436
四半期純利益	647	1,806
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	649	1,806

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	647	1,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	16
為替換算調整勘定	△10	20
退職給付に係る調整額	0	18
その他の包括利益合計	5	54
四半期包括利益	652	1,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	654	1,861
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	HS 事業部門	ES 事業部門	SE 事業部門	PV 事業部門	新電力 事業部門	環境資源 開発 事業部門	合計		
売上高									
外部顧客への 売上高	8,591	1,832	1,283	5,696	4,322	12,619	34,345	—	34,345
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,591	1,832	1,283	5,696	4,322	12,619	34,345	—	34,345
セグメント利益 又は損失(△)	956	47	△90	△121	238	2,343	3,372	△2,260	1,111

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用2,260百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	HS 事業部門	ES 事業部門	SE 事業部門	PV 事業部門	新電力 事業部門	環境資源 開発 事業部門	合計		
売上高									
外部顧客への 売上高	8,859	2,007	948	6,516	1,964	13,978	34,275	—	34,275
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,859	2,007	948	6,516	1,964	13,978	34,275	—	34,275
セグメント利益 又は損失(△)	1,277	34	△67	△67	87	3,200	4,463	△2,044	2,419

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用2,044百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

部門別連結売上高

品目	期別	数量 単位	前第3四半期 連結累計期間 自2022年4月1日 至2022年12月31日		当第3四半期 連結累計期間 自2023年4月1日 至2023年12月31日		比較増減	
			数量	金額	数量	金額	数量	金額
白蟻防除施工		千坪	454	2,991	522	3,236	68	244
床下・天井裏換気システム		—	—	2,136	—	2,246	—	109
基礎補修・家屋補強工事		軒	2,815	1,211	2,614	1,167	△201	△44
その他		—	—	2,251	—	2,209	—	△42
H S 事業部門計		—	—	8,591	—	8,859	—	267
防錆機器取付施工		本	687	790	684	749	△3	△40
建物給排水補修施工		—	—	526	—	756	—	230
建物防水塗装補修施工		—	—	234	—	226	—	△7
その他		—	—	280	—	273	—	△6
E S 事業部門計		—	—	1,832	—	2,007	—	175
太陽光発電システム		—	—	1,283	—	948	—	△334
S E 事業部門計		—	—	1,283	—	948	—	△334
太陽光発電システム		—	—	5,538	—	6,416	—	878
太陽光発電システム卸販売		—	—	88	—	30	—	△58
その他		—	—	69	—	69	—	0
P V 事業部門計		—	—	5,696	—	6,516	—	820
売電収入		—	—	4,322	—	1,964	—	△2,358
新電力事業部門		—	—	4,322	—	1,964	—	△2,358
プラスチック燃料		t	211,172	7,547	212,383	7,411	1,210	△135
発電所売上		—	—	2,344	—	3,668	—	1,323
廃液処理		t	76,058	1,564	76,884	1,591	825	27
埋立処理		—	—	799	—	753	—	△46
その他		—	—	362	—	553	—	190
環境資源開発事業部門計		—	—	12,619	—	13,978	—	1,359
その他		—	—	—	—	—	—	—
セグメント間の内部売上高調整額		—	—	—	—	—	—	—
売上高計		—	—	34,345	—	34,275	—	△70

(注) 取扱品目が多岐にわたり数量の把握が困難なものは、記載を省略しております。